事業所名 認知症高齢者グループホーム まつばら荘

作成日: 平成 29年 4月 21日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む 具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	40	朝食と休日の食事はその日の担当職員が考えて調理しているが、ご利用者がバランスのとれた楽しい食事をするためにも、1週間程度の献立を作成していきたい。	利用者がバランスのとれた楽しい食事をす るために、献立を作成、掲示をしていく。	管理者、調理員、ケアマネージャー、併設小規模との検討会議を実施し、献立作成と実施に向けて取り組み、バランスの良い食事を提供していく。また、献立を掲示することにより、ご利用者の楽しみを増やしていく。	3ヶ月
2	35	避難訓練に地域住民が見学に来たり、地域との連絡網も整備されるなど、非常時における地域の協力が得られるようになった。今後はさらに地域との連携を緊密にするためにも、事業所の避難訓練に地域住民にも参加してもらうよう地域に働きかけたい。	地域の方々に協力していただき、合同訓練を実施し、有事の際はご利用者の見守りなど、可能な範囲でご協力をいただける体制づくりを進め、ご利用者の安全確保に努める。	運営推進会議で説明を行ったうえで、地域の 方々にも訓練に参加していただけるよう、訓練 へのご協力についての案内の配布などを行う。	6ヶ月
3	33	グループホームを終の棲家とし、最期を施設で迎えたいなど、ご利用者やご家族の要望も今後は多様化していくと思われる。ご利用者やご家族の意向を伺い、介護保険事業所としてどもまで対応できるかを話し合い対応していきたい。	ご利用者の意向や希望を重視することは勿論、ご家族の意向や希望を丁寧に伺い、看取りを踏まえた情報提供を行い、検討をして意向に添えるようにしていく。	面会時等を利用して、ご家族とコミュニケーションを密にし信頼関係を継続して構築する。ご家族の要望によっては、訪問看護ステーション等からの情報収集に努め、ご家族と話し合いを重ねていく。グループホームでの看取りについては法人内での検討も同時に行っていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5		ロの棚については、白コミエケでロのルナミューマ			ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。